

2024年3月21日

報道関係各位

株式会社エンビプロ・ホールディングス
(コード番号：5698 東証プライム)

**プラスチック類のマテリアルリサイクル事業を拡大
～複数のセンサー機能を搭載した最新選別機を3台導入～**

当社連結子会社である株式会社エコネコル（本社：静岡県富士宮市、代表取締役社長：佐野文勝、以下「エコネコル」）は、本社工場および富士工場の2拠点に最新のセンサー式選別機を3台導入し、2024年2月より稼働を開始しました。これにより、プラスチック類のマテリアルリサイクル事業を拡大します。

プラスチック資源循環促進法の制定等を背景に、廃プラスチック類のサーキュラーエコノミー実現に向けた需要が高まっており、製品の原材料として再利用すること（マテリアルリサイクル）が求められています。しかしプラスチックは、成分が異なる多くの種類が存在し、プラスチックを使った製品は単一素材で作られていないことが多く、マテリアルリサイクルが難しいとされています。



(エコネコル富士工場に設置した選別機)

複数のセンサー機能を搭載した本設備の導入により、廃プラスチック類は、ポリプロピレン（PP）、ポリエチレン（PE）、ポリスチレン（PS）、ABS樹脂など、マテリアルリサイクルに向けた素材ごとの選別が可能となります。エンビプログループでは当社の強みである選別技術をさらに向上させ、様々な企業のニーズに対応可能な再資源化ソリューションを取りそろえています。

当社グループでは、中計2028において戦略コンセプト「サーキュラーエコノミーをリードする」を掲げています。2024年2月にポリマーサーキュラーラボを開設し、企業のポリマー（ゴム、プラスチック等）製品開発のサポートを始めています。当事業の拡大により、ポリマーのサーキュラーエコノミーを更に推進していきます。

■ 設備概要

設備名称	センサー式選別機
機能	主に色や形状、金属センサー、NIR（近赤外線）などが搭載されています
設置場所	静岡県富士宮市山宮 3507 番地の 19（エコネコル本社工場） 静岡県富士市前田字川原 758-1（エコネコル富士工場）
設備投資額	約 194 百万円

以上

-----<本件に関するお問い合わせ>-----

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営管理部 広報担当 渡邊千佳
TEL：0544-21-3161 Mail：ir@envipro.jp

<関連情報>

▼プレスリリース一覧

<https://www.envipro.jp/news/press/>

▼環境や業界、サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルに関する最新情報

<https://www.envipro.jp/news/knowledge/>


<補足情報>



(1) 名称	株式会社エコネコル
(2) 所在地	〒418-0111 静岡県富士宮市山宮 3507 番地の 19
(3) 代表者	代表取締役社長 佐野文勝
(4) 事業内容	産業廃棄物のリサイクル(鉄・非鉄金属・廃プラスチック・廃家電・廃 OA 事務機器・廃自動車 等)、プラント解体、自治体粗大ゴミ処理、リサイクル資源の輸出(金属スクラップ・古紙・廃プラスチック 等)、木くずリサイクル
(5) 資本金	4億 3,500 万円
(6) 設立	1978 年7月(創業 1950 年3月)
(7) 株主	株式会社エンビプロ・ホールディングス 100%
(8) URL	https://www.econecol.co.jp/

エコネコルは、エンビプログループの中核事業である資源循環事業を担い、産業廃棄物のリサイクルやプラント解体等を行っています。廃棄物の中から有用な素材を回収し、再び製品に戻すことで、サーキュラーエコノミーの実現に貢献しています。



会社名 株式会社エンビプロ・ホールディングス
 本社 静岡県富士宮市田中町 87 番地の 1
 代表者 代表取締役社長 佐野富和
 グループ会社 連結子会社 12 社 (孫会社含む)、持分法適用関連会社 2 社
 従業員数 単体 65 名 (連結 632 名) ※2023 年 6 月末時点

世の中で生産、使用された「製品」を私たちはCEのプロフェッショナルとして、様々な方法で再価値化します。

